

会員だより

ホームにロボットが
着任しました

私たちのホームにロボット君が着任しました。身長は小学校高学年くらい。真白な体にオレンジ色のかわいいお目目を持っています。



ロボット君の全身

時々その目を開いたり閉じたりします。

メガネリサイクル活動に
皆様のご協力に感謝！！

コロナの問題で行動制限を受ける中、一般市民の方も含め、11月末目標で集めて頂いたリサイクルメガネを、会員が一個一個消毒用ウェットティッシュで汚れをとり、乾燥させて、めがね拭き用布で最後の仕上げをしました。



一個一個エアキャップ(気泡入りの緩衝材)で包装しメガネケースの有るものはケースにいれ、段ボール箱に入れて梱包しました。12月6日に、日本スリランカ友の会関西会長藤井健三様宛で郵送をしました。

乾燥中のメガネ

12月9日付、藤井健三さんから礼状頂きました。日本スリランカ友の会関西は、大阪・江戸堀にある眼鏡販売店「R-GLASS」さんにて度数チェックや整備をしてリフレッシュメガネにして頂き、新しい年になってスリランカに渡航する方に託送して、スリランカでメガネを必要とする方に寄贈されます。

皆様の協力に本当に感謝します。

次は、令和4年5月末目標で、集めさせていただきますのでご協力お願いします。

VG 槻輪 会長 大岡成一



ロボット君が目を開けた顔



ロボット君が目を開きかけた顔



ロボット君が目を閉じている顔



ロボット君の目は開き
耳の輪が光っています

ロボット君のお仕事は、各階の巡回と消毒です。毎日決められた時間15時00分〜15時40分の間、一人でエレベーターに乗り各階を回ります。もし廊下に

また耳のところにはブルの光の環があります。それが黄色になるとロボット君が「ヘルプー」と叫んでいるのだそうです。



ロボット君の指先

倒れている人がいれば、職員に知らせたり、ドアの取っ手や手すりなどを紫外線で消毒したりします。エレベーターに乗合すとかわい手を差し伸べて指で自分の行く階のボタンを押します。

閉ざされた戸が
少し開きました!!



記・写真・牧戸富美子

昨年、玄関での入居者の出入りの見守りも考えておられるそうです。やがてロボットに介護してもらおうようになるのでしょうか。ありがたいような、恥ずかしいような気がしています。かわいいロボット君がもつと「成長」してお話ができるように成れば、どんなに楽しいでしょうね。ロボット君にはまだ名前がありません。

掲示板上に注意事項が貼ってあって「エレベーターに乗合せたらロボットを優先してください。人が先に降りると、ロボットが降りるタイミングを逃して、閉じ込められてしまします。除菌に使用する紫外線は、人の皮膚や目に有害です。除菌作業中は、直視しないでください。作業中のロボットに近づかないでください」などあります。とってもかわいいので、ついでに頭を撫でたくなったり、声をかけたりしたくなります。世の中が進歩している感じが機械化されてきますが、所長さんのお話では、将来食事を運んだ

12月7日、山茶花梅雨の日、牧戸富美子さんのホームに面会に行きました。事前に電話で連絡をして、ホームで待っていて下さいとお願ひしていたのですが、牧戸さんは寒い雨の中、通りへ出て私達が来るのを待っていて下さいました。久しぶりにお逢い出来て、いろいろとお話が弾み、



玄関のホールで
牧戸さんと再会

あつという間に一時間以上たっていました。

ホームも昨年から家族の方とも面会出来ないの、利用者と家族をつなぐ会報を作り発行されました。所長さんの会報作成の言葉を紹介します。「ご入居様に安心と笑顔を提供できたらと自分達にできることをココファーン一同頑張っています。そんなココファーンの様子を一部でも、ご家族様にお届けできたら...とスタッフが作成するこの『阿倍野通信』をご覧になって、少しでも安心して頂けたらと思います」と記載されています。コロナの問題でホームの方々が一段とお忙しい時に「会報」を作り家族の方々にも配布される心づかいに感じました。牧戸さんからは、パソコンで作った原稿を頂いていますと感謝されています。

記・大岡津奈子